

平成 2 3 年度研究開発成果概要書
「広域加入者系光ネットワーク技術の研究開発 課題イ」

(1) 研究開発の目的

わが国の FTTH(Fiber To The Home)サービスは、2008 年 6 月にはその契約者数が ADSL(Asymmetric Digital Subscriber Line)を超え、ブロードバンドサービスを担う加入者系ネットワークがメタルから光へ移り変わっている。FTTH 先進国として、より多くの国民に最新の技術を活用した加入者系光ネットワークによるブロードバンドサービスを提供可能とすることが求められている。

本研究では、加入者の増減・サービス内容の変化に応じ、サービス提供エリア及び伝送容量等の変化へ対応可能な適応ネットワーク構成技術を確立し、更に、これらの技術に基づく広域加入者系光ネットワークを実証することで、本技術の優位性並びに今後の課題を明らかにし、更に研究開発成果の産業面での活用の方角を示すことを目的とする。

(2) 研究開発期間

平成 2 1 年度から平成 2 3 年度 (3 年間)

(3) 委託先企業

沖電気工業株式会社 < 幹事 >

(4) 研究開発予算 (百万円)

平成 2 1 年度	8 0 (契約金額)
平成 2 2 年度	7 6 (")
平成 2 3 年度	7 1 (")

(5) 研究開発課題と担当

課題イ：適応ネットワーク構成技術の研究開発

1. 光ハイブリッドフィルタ技術 (沖電気工業株式会社)
2. 適応ネットワークキング技術 (沖電気工業株式会社)

(6) これまで得られた研究開発成果

		(全体) 件	(当該年度) 件
特許出願	国内出願	11	7
	外国出願	1	1
外部発表	研究論文	3	2
	報道発表	1	1
	その他研究発表	9	5
	展示会	1	1
	標準化提案	1	1

具体的な成果

- (1) OHF のアサーマル化によるパッシブノード実現
- (2) 160ch の多重性能を実現
- (3) 試作した試験機によるフィールド実証に成功

(7) 研究開発イメージ図
別紙